

旧日本銀行広島支店：原爆投下後

旧日本銀行広島支店に関しては、この建物が原爆投下で倒壊を免れたことというだけで驚くべきですが、ひょっとするとそれ以上に驚くべきことに、顧客向けの銀行業務は原爆投下のわずか 2 日後である 1945 年 8 月 8 日に再開されました。この銀行の建物以外にこれほどの芯の強さを見せたのは、その職員だけでしょう。

この銀行は、広島市の中で原爆投下の大きな被害を免れてまだ金庫に十分な資金があったわずかな銀行の 1 つでした。しかし原爆の爆発によって、顧客の本人確認書類などの多くの重要な記録が失われました。そのため、基本的な銀行業務を再開することにさえ危険がある状態でした。支店長の東京の上司たちが対応を協議する中、支店長は職権を行使して判断を下しました。広島市の人々の生活再建を支援するために、人々の本人確認書類の状態がどうであれ、ただただ人々を信頼することにしたのです。

さらに支店長は、広島市の他の銀行に対して、日本銀行の金庫の資金を用いて、日本銀行の建物でそれぞれの顧客の対応を行うことを許可しました。全ての大手銀行の窓口が、日本銀行の分厚い大理石のカウンターに設置されました。全ての銀行が協力したことで、市民は大惨事の直後にも関わらず預金を引き出すことができ、それが広島市の長い復興の道のりの第 1 歩となりました。最も重要なこととして、日本銀行が人々に本人確認書類の提出を求めなかった期間、たった 1 件の詐欺も報告されませんでした。